

経営健全化方針に基づく取組状況(令和6年度)

1 法人名

姫路ウォーターフロント株式会社

2 経営健全化方針を策定した理由

- 平成2年のゴルフ場オープン以降、バブル崩壊、阪神・淡路大震災の影響等により債務が累積し、平成17・18年度には債務超過額が4億円を超えた。
- その後の経営努力により、債務が減少したものの、令和5年度決算における債務超過額は約1億28百万円となっている。
- 但し、ゴルフ人口の減少、周辺ゴルフ場との価格競争などにより、今後も厳しい経営状況が続くと懸念される。

3 主な取組状況

新型コロナウイルスの位置付けが5類に移行してレジャーの分散化が加速したことに加え、夏季の記録的猛暑やゴルファーの高齢化もあり、昨期に比較して利用者が減少している。そのため、令和6年度(第36期)においては、インスタグラム等のSNSの積極的活用、新規イベント企画、友の会特典見直し、施設・設備の更新など、様々な増客対策を講じている。

(1) 法人自らによる経営健全化のための具体的な対応

ア 利用者サービス及び収益性の向上

- (ア) ターゲットを明確にした戦略的な情報発信の強化
 - a SNSを効果的に運用した話題性あるイベントの継続展開
 - b 「参加したくなる」魅力的なロングランコンペの開催
 - c 「姫路オープンゴルフフェスティバル2024」の開催(施設提供)
- (イ) サービス強化による多様な顧客層のニーズへの訴求
 - a 友の会特典見直しによる会員へのサービス向上
 - b さらに顧客獲得のため、大好評の女性向けイベントの継続展開
 - c ジュニア割引・学割の積極的展開による、次世代ゴルファー創出・育成への貢献

イ コース環境の整備

- (ア) レディース専用のティーイングエリアの増設、拡張工事
- (イ) インターシードによる長期スパンでのグリーン更新作業の実施
- (ウ) フェアウェイ芝修復作業の完遂

ウ 施設・設備の改良・更新

- (ア) 乗用カートの更新
- (イ) レストラン食券販売機の追加更新(QRコード決済対応)
- (ウ) セーフティボックスの更新
- (エ) コース管理用機械の修理及び更新
 - a 乗用3連グリーンモアのオーバーホール
 - b 散水設備の修復工事

(2) 姫路市による財政的なリスクへの対処のための対応

- ・経営改善のための助言、監査ほか、市有地貸付等の支援を継続

4 法人の財務状況

(1) 貸借対照表から

(単位：千円)

	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算
資産総額	99,491	99,075	97,771
(うち現預金)	(60,418)	(56,664)	(55,634)
(うち売上債権)	(0)	(0)	(0)
(うち棚卸資産)	(4,004)	(2,866)	(2,755)
負債総額	231,397	227,391	225,500
(うち当該地方公共 団体からの借入)	(0)	(0)	(0)
純資産額	△131,906	△128,316	△127,729

(2) 損益計算書から

(単位：千円)

	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算
経常収益	302,440	324,578	314,107
経常費用	294,303	318,869	313,150
経常損益	8,137	5,709	957
経常外損益	△3,082	△2,119	△371
当期純損益	5,055	3,590	586